

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (USD)	日本円	備考
授業料	5950	868700 円	1\$=¥146
宿舍費	6695	977470 円	寮での食費込み
食費	600	87600 円	
図書費	70	10220 円	教科書を含む
学用品費	0	0 円	持参
携帯・インターネット費	45	6570 円	
現地交通費	560	81760 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	740	108040 円	
被服費	30	4380 円	
医療費	0	0 円	
保険費	194	28265 円	形態:大学指定のもの
渡航旅費	592	86410 円	
ビザ申請費	185	27010 円	
雑費	300	43800 円	
その他		円	
その他		円	
合計	15961	2330225 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:羽田空港 目的地:SFO 経由地:伊丹空港→関西国際空港	
復路 出発地:SFO 目的地:NRT 経由地:	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:JAL 料金:48000 円 復路 航空会社:JAL 料金:38000 円 ∴合計:86000 円(マイル使用)	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:JAL)	
<input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:unit 1) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 1)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

calnet(ohmeiji みたいなもの)のhousing から探した

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

最初は日本との違いを感じてつらいことも多かったが、1 か月くらいすれば慣れてきて、友人もできたりして楽しくなってくる。寮は他の日本人が多い ihouse に行く方が日本人以外の友達もできやすいためおすすめ。現地に行く前にある程度英語をしゃべれるようになっておいた方がよい。両替は日本にいるうちの済ませたほうがレートがいい。途中でラスベガスによることがあればラスベガスのホテルで両替をしてもらうとほかの場所よりもレートがいいことがある。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし
あり(治療を受けた場所:)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし
あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

現地の学生と友人になり、付近に危険な公園があると聞いたので夜 11 時以降はその公園に近づかないようにした。実際に犯罪にあったことはない。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学が運営する寮で生活していたため、大学と寮のインターネットは同一であったがおおむね問題はなかった。しかし不定期で接続が切れることもあった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現金はほぼ使わず、クレジットカードが基本であったがそれで不自由なかった。両替をしていなかったため友人と食事に行ったりした際にクレジットカードで支払いをし後から現金をもらうことで調達していた。それでも余った。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

付近に日本の食材を扱う店があるため基本的には何でもそろふ。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前に銀行から振り込む形で授業料を支払った。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
The Social, Political and Ethical Environment of Business	ビジネスにおける社会的政治的倫理的環境
科目設置学部・研究科	UGBA
履修期間	6 週間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 3 回
担当教授	Alan Ross
授業内容	アメリカのビジネス環境における社会的、政治的、倫理的側面を、アメリカのビジネスの歴史、競争力、倫理、社会的責任、コーポレート・ガバナンス、政府規制に焦点を当て取り扱う。自由市場と規制の葛藤、歴史的な成功と競争力向上への挑戦、株主や利害関係者の対立など、ビジネス管理に関連する複雑な問題について議論を行った。
試験・課題など	中間試験は持ち込み不可の対面でウェブ上に掲載された文章を読んで倫理的な問題について論じる。期末試験も同様に掲載された文章について予想される政治的戦略について論じる。提出物として自身が決めたテーマの倫理的な問題について 10 ページほどでレポートを書きそれについて発表を行う。
感想を自由記入	先生が非常にユニークな方で授業は面白い。先生と生徒の距離も近い。レポートとテストはかなり難しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Project Management	プロジェクトマネジメント
科目設置学部・研究科	UGBA
履修期間	6 週間
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式、グループワーク(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 2 回
担当教授	Omar Romero-Hernandez Sergio Romero-Hernandez
授業内容	プロジェクト管理に関するスキルと知識を習得し、プロジェクトを成功させる能力を養う。具体的には、プロジェクトの計画、組織化、コントロール、コミュニケーション、プロジェクト管理の概念を理解し、WBS、CPM、Pert、ガントチャート、資源制約スケジューリングなどのプロジェクトスケジューリング技法を学ぶ。さらに、IT、建設、製品開発、ビジネスなどのさまざまな分野でのビジネスケースを紹介し、国際標準に基づくプロジェクト管理のフレームワークやツールについても学ぶ。
試験・課題など	グループを作ってプロジェクトを決め、それについて発表を行う。また授業内容についてのクイズが 2 度ある。プロジェクトのタイムラインを作る課題と、プロジェクトのシミュレーションの課題がある。
感想を自由記入	先生がフレンドリーで優しくかった。グループワークがあったので友達もできた。しかし、授業外で集まる必要があったので大変でもあった。また英語が拙い身からするとグループでの話し合いで英語を聞き取るのは講義を聴くこと以上に難しかった。さらに自分の意見も発信する必要があるため悩むことも少なくなかった。それでも同じグループになった友達が何とか私の言おうとしてくれることを理解しようとしたり、理解できるようわかりやすく説明してくれたりしたので仲は深まった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to International Business	国際ビジネス入門
科目設置学部・研究科	UGBA
履修期間	6 週間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 3 回
担当教授	Dan Himelstein
授業内容	このコースの目的は、学生に国際ビジネスの中核概念を紹介することである。 このコースでは、グローバル経済がどのような背景のもとで運営されているのか、また、そのような背景の中で企業がどのように運営されているのかを探求する。 を探求する。学生は授業で積極的な役割を果たし、重要な交流と活発なディスカッションを行う。
試験・課題など	中間期末テストは両方ともケーススタディで企業の CEO として社の方針を 3 ページでまとめてレポートとして提出する。課題は 3 週間に一度国際ビジネスに関する記事を探してきてそこから学んだことを書く。
感想を自由記入	一番日本で受けているような講義に近かった。例として日本が取り上げられることが多かったので、日本もまだ経済大国であることを実感した。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Conflict Resolution Skills		紛争解決のスキル	
科目設置学部・研究科	大学設置科目		
履修期間	3週間		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	グループワーク(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が4回		
担当教授	Jennifer Burton		
授業内容	紛争解決入門で留学生のための入門コースでロールプレイ、コンフリクトコーチング、調停を通して、実践的な紛争解決スキルを学ぶ。英語を母国語とする生徒や、英語を母国語としない生徒と効果的にコミュニケーションをとるために必要な言語的、文化的スキルに焦点を当て、英語の流暢さを向上させる。		
試験・課題など	授業参加が評価のメインで、授業の内容を問うクイズがある。美術館に行って感想を書く課題があった。日々の宿題として教科書をよんで問いに答える。		
感想を自由記入	留学生を対象とした授業だったため、保管物に比べ簡単だったが、二人一組や4人でグループを組んでの会話がメインだったので英語でのコミュニケーションスキルは大いに向上したと思う。一番最初のこのような授業を受けていたら良かったと思った。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、
期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。